



## わかりやすく伝えて、試せる環境を！

奈良県香芝市教育委員会 特別支援教育アドバイザー 芳倉優富子

今回のでこぼこポン！のテーマは、「力加減の発明品」です。

扉を閉める、物を置くなどの動作をどれくらいの力加減でするのがわかりにくい子があります。力加減がわかりにくために、でこりんのように周りの人にいやな思いをさせたり、失敗したりしてしまうことがあります。ぼこすけにのように「どうしてあんなに力いっぱいやっちゃたの？」といわれてしまうこともあるでしょう。そういわれても自分は、乱暴にしたつもりはなく、優しく置いたつもりなので困ってしまいます。そういわれてもわからないので「乱暴になんてやってない。」と怒ってしまう子がいるかもしれません。

どれくらい力をいれているかわかりにくいでこりんが、自分の力がどれくらいかの強さわかる発明品「てぶくろう」を発明します。どれくらいの力の強さでしているのがわかりにくいので、力の強さを「てぶくろう」が数字で教えてくれることで分かりやすくなりました。わかりにくい感覚を数字で表すことで、でこりん自身が、自分の力加減がわかりやすくなり自分で調整できるようになっていきます。「てぶくろう」の数字を確かめながら何回も挑戦し、成功体験を繰り返しているうちに力加減がわかってきました。

でこりんのように力加減がわからないために、大きな音をたててしまい、周りの人をびっくりさせてしまうこと、道具の操作をするときに力の加減がわからず道具を壊してしまうこと、遊びの中で友達とトラブルになることもあるかもしれません。力加減を数字で分かりやすく伝え、何回も挑戦して成功する喜びを感じさせてあげることがおすすめです。わかりやすく伝える方法として、1をありさん2をねずみさん3いぬさん…のように動物にあらわすこともできます。好きなキャラクターに表すのもいいかもしれません。

番組では、最後にでこりんがたまごを割るときに力加減を迷っていると、ぼこすけが手をそえて一緒にたまごを割り、力加減を伝えてくれました。周りの人が一緒になって力加減を教えてあげると、いろいろな場面での道具の使い方や力加減がわかりやすく身につけやすくなることでしょう。手を添えて一緒に作業し力加減を感じて覚えることが大切です。失敗しないかと不安になってしまい力が入ってしまうこともあります。そっと手を添えて力加減を伝えることは力加減とともに安心感もつたえることができるのでおすすめです。